

題名：横浜労災病院で橈骨動脈経由（手首から）の脳血管カテーテル検査や治療を受けた患者さんへ

当院では、下記の臨床研究を当院倫理委員会の審査を経て病院長の許可のもと行っています。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、あなたの診療情報や検査などで残った検体の下記の研究への利用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして研究に利用させていただきます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用するまたは提供されることを希望されない場合、また研究に関する質問等ございましたら、下記に記載している問合せ先へご連絡下さい。利用を希望されないことが今後の診療に何らかの影響を与えることは一切ありません。

研究課題名 (承認番号)	橈骨動脈からの脳血管撮影における血管拡張薬の効果および関連臨床因子の定量的解析 (2026-12)
当院の研究責任者（所属）	脳神経血管内治療科 部長 戸村九月
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	手首（橈骨動脈）からカテーテル検査を行う際に、橈骨動脈のけいれん（スパズム）を防ぐために動脈内に投与する血管を広げる薬（ラジアルカクテル）の効果を定量的に調べることを目的としています。薬を投与する前後で橈骨動脈の太さをどれくらい広げられるか、また広がり方に関係する患者さんの特性（血管の太さ・年齢・性別・薬の量・前投薬の有無）を明らかにします。
研究の方法 (利用する試料・情報)	研究実施期間：2026 年 8 月～2027 年 3 月 過去の診療記録および血管造影画像から、年齢・性別・血圧・橈骨動脈の太さ（薬投与前後）・薬の投与量・前投薬の有無を収集し、統計解析を行います。新たな採血や処置は一切行いません。
利用する試料・情報の該当期間	2025 年 8 月 1 日～2026 年 3 月 31 日
試料・情報の他の研究機関への 提供および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する試料・情報から、氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は一切利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：045-474-8111(代表) メールアドレス：rinri@yokohamah.johas.go.jp 担当者： 戸村九月（所属：脳神経血管内治療科）
備考	